

「あなたの会費が国大化学会と大学・学生を支えています」  
会費納入の現状と今後の会費納入促進対策について（お願い）  
寄付金の全額が、平成26年度より学生支援金になりました

会費納入促進 G

坂本 泰一（平成2年物工卒）

本間 昭弘（昭和44年2部応化卒）

はじめに

昨今、同窓会の役割が、従来の卒業生の懇親会的位置づけから、大きく変化しています。すなわち、法人としての大学への参加協力、学生への具体的支援の比重が大きくなってきています。

私たち卒業生は、これらの変化を敏感に受け止めての活動が必要です。そのために、会費納入状況は、十分ではありません。皆様に、その実情を知っていただくとともに、今後の同窓会をより強固にしているではありませんか。対策への御協力をお願いいたします。

（現状）

① 同窓会の運営は赤字

平成25年度は約40万円の赤字。平成26年度より名簿発行を電子化することにより、赤字額を縮小できる見通しですが、依然として毎年100万円程度の赤字が予想されます。これまでの繰越金を切り崩して運営していますが、このままでは10数年後には同窓会を存続できなくなります。

② 会費納入者が少ない

赤字の原因として、会費納入者が少ないことが原因の一つとなっています。平成25年度は、全会員6,837人のうち、会費納入者は1,541人でした。

③ 連絡先不明者が多い

現在、連絡先がわからず、会誌が届かない方が2,930人います。これは、卒業生の約43%です。

（対策）

① 連絡先不明者の掘出しと連絡先不明化の防止

同窓委員の皆様をお願いしてクラスまたは研究室の不明者の住所を調べていただきます。また、会誌の送付時に、住所・氏名等の変更届用紙を同封します。抜本的には、平成27年度に設立予定の国大校友会と協力して連絡先（親元を含む）を登録していただき、不明者をなくして行きます。

② 会費納入率の向上

会費の振込みは、郵貯銀行が中心になっていますが、銀行（横浜）振込み口座の方法も紹介しています。同窓委員の方より、他の会員の方に会費納入の呼びかけをさらにしていただきます。

会費納入を促進するために、皆様から具体的対策などのご意見をお願いしています。

現在、会費の約10%相当分を学生支援等に使ってきましたが、平成26年度より新たに、博士課程に進学する学生に対する一時支援金制度が発足しました。これに伴い、会費納入時に振り込まれていた寄付金の全額を学生支援金会計に繰り入れます。これからの日本の将来を背負っていく横浜国大の学生をこれまで以上に応援しようではありませんか。皆様、ご理解頂き会費納入と寄付金増額をお願いいたします。

（文責 本間）

## 会員情報システム「Yokochem Network」の導入について

副会長、名簿ワーキンググループリーダー  
鈴木 恵一郎（昭和45年電化卒）

### <はじめに>

今春に発行された「国大化学会ニュース2014」に記しましたように、現在、従来の会員名簿（事務局の名簿の原簿、および冊子版の名簿）からインターネットを利用したWeb版の会員情報システムへの移行作業中です。

導入する会員情報システムは（株）イーストゲートが運営する「アルムネット」というクラウド型の名簿管理・情報システムです。アルムネットはすでに25以上の大学等の同窓会・各種団体で使用実績のあるシステムで、横浜国大でも理工学部同窓会連合の中の横浜電子情報工学会が2012年度に採用しました。同様なシステムには（株）ワンネットが運営する「アルセント」システムもあり、富丘会が昨年これを採用しましたが、名簿ワーキンググループで両システムにつき機能の点、コストの点等から総合的に比較し、国大化学会としてはアルムネットを選択しました。横浜電子情報工学会の吉川信行教授には検討の当初より、色々丁寧にご教授いただきまして、大変感謝しております。

また、この会員情報システムの愛称を学生役員を通じて学生に募集し、十数種の案の中から学生役員により「Yokochem Network」が選ばれました。学生役員の皆さん、ありがとうございました。

### <従来の冊子名簿の問題点とその解決>

従来、国大化学会では概ね3年毎に冊子名簿を発行してきましたが、次のような問題がありました。

1) 冊子名簿発行による出費が会の財政を圧迫。印刷費と送付費用で一回200万円程度が必要でした。また、名簿更新のために会員の皆様に更新依頼を送りし、その修正をするなど、印刷に出す以前に事務局でかなりの作業が必要となり、労務費用がかかっていました。

2) 個人情報保護の観点から、名簿にどこまでの情報を掲載するかが問題となっており、前回の名簿発行の際にも時間をかけて議論をしました。その結果、前回の名簿には以前とほぼ同様に氏名、研究



室、勤務先、住所、電話番号を掲載しましたが、次第に載せられる情報が減っており、空白部分の多い名簿となってきていました。

3) 印刷物であるために、名簿が外部に流出するなど、名簿情報管理の難しさがありました。

上記のような状況は多くの団体に共通の問題であり、すでに冊子名簿の発行自体を止めてしまった団体も多くあります。

今回の名簿情報システムの導入により、上記の問題のすべてが軽減ないし解決されることになりました。

1) に対し、会員情報システムの場合、初期の導入費用は100万円超かかりますが、以後の年間費用は30万円程度となり、十分なコストダウンが見込まれます。またシステムが安定的に使用されるようになると、事務局の名簿管理・更新作業も大幅に軽減されると思われます。

2) に対し、個人情報保護の問題も、会員情報システムに登録する情報の公開範囲を会員自身が随時変更できるため、ほぼ解決できると思われます。公開範囲は、「会員すべて」、「グループのみ（同クラス、同研究室など）」、「公開しない」等の5段階で指定できます。もちろん、会員情報システムを開く際には個人別のID、パスワードが必要なため、公開範囲を「会員すべて」とした場合にも、外部の人に見られる心配はありません。

3) に対し、名簿情報管理についても、電子情報の場合、情報流出がしばしば問題となりますが、アルムネットには様々なセキュリティ対策が講じられており、名簿の高い安全性を確保できます。会員でも、

登録情報全体をダウンロードすることはもちろん、会員検索による結果のリストもダウンロードができないこととなっています。また、事務局で定期的に登録情報をダウンロードし、名簿情報の保全を行います。

#### <会員情報システムの新たなメリット>

上記の冊子名簿に対するメリットに加え、会員情報システムによる、新たなメリットがあります。

##### 1) 会員同士の交流の活発化

会員情報システムを通じて、会員同士がメール交換をしやすくなります。個人間だけでなく、例えばある会員が何らかの会員検索をして、抽出された会員にメール連絡をしたいような場合、それぞれのメールアドレスを知らなくても、一括メールができます。

##### 2) クラス会、研究室等のグループ活動の活発化

同期クラス、同研究室等の会員をグループとして登録すると、グループの掲示板を設けたり、ファイル共有、メッセージの一括送信等ができるようになります。クラス会を開く際等に便利です。

##### 3) 会の運営の効率化・経費削減

会員により名簿情報の更新が随時されるようになると、会の名簿が常に最新のものとなり、このための事務局での名簿管理業務が軽減されます。会からのお知らせ、ニュース等を会員情報システムのトップページに簡単に掲載することができ、また必要な情報を必要な会員にメール配信することができます。近い将来、会からの総会等の連絡はメールのみでよいという会員にはメールのみの連絡とすることができれば、経費を節約することも可能になります。会誌を希望者には電子版としダウンロードすることができるようにすることもできます。また、会費納入をシステムに組み込み、会費管理事務をより簡単にすることも可能です。これについては既に組み込み、オンラインでクレジットカードによる支払等ができるようにしている団体もあり、我々も導入を検討しました。しかし、現状ではコストがかかり過ぎ、システムが複雑になります。より簡便なシステム導入方

法もありますが、会費の納入に関しては他の方法の利用も考えられ、まずは導入しないこととしました。

#### <会員情報システムの概要>

会員情報システムへの登録項目を図1に示します。まずは事務局原簿より登録し、皆様に修正・追加をしていただきます。また、情報の公開範囲の設定も各自で項目ごとに可能です。

会員情報システムの会員サイトのログインページを図2に示します。ログインページへは国大化学会のホームページから入ることもできます。ログインページで、皆様に個人別にお送りする会員IDおよびパスワードを入れていただくと、トップページが開きます(図3)。トップページでは、事務局からの連絡など最新情報を表示しており、このページから会員検索、メッセージの送信、クラス会の案内作成・配信等ができます。また、トップページからユーザーページを開くことができます(図4)。ユーザーページからは自分の登録情報を確認したり、更新することができます(図5, 6)。他の会員が閲覧することができるページの見え方を確認することもできます。

この他に事務局が管理する管理者サイトがあり、このサイトから新規の登録(学生の入会等)、情報の更新、プロフィール項目の設定、ニュース・案内の掲載、メール配信等ができます。また、管理者サイトでは、全情報をダウンロードすることができ、一括修正等ができます。また、各グループの代表者(同窓委員等)にはそのグループのメンバーの情報の更新ができる権限を与えるようにしたいと考えております。図7に会員情報システムでできることをまとめました。

なお、パソコンを使用しない会員の方々のために、事務局へ登録情報の確認、更新修正の依頼ができるようにし、また、ダウンロードした情報から作成する簡易的な冊子名簿(有料)の配付、事務局への会員情報の問合せへの対応等を考えており、ご不便をおかけしないようにしたいと思っております。

図1 会員情報システム  
登録項目

基本情報	会員番号ID パスワード 氏名 旧姓・性別も 会員種別(正会員・)等
連絡先情報	Eメールアドレス 2アドレス登録可 自宅住所 その他住所も 自宅TEL 携帯TEL
在学・卒業情報	学士 学年・卒業年月・学科・研究室 修士 学年・修了年月・専攻・研究室 博士 同上
勤務先情報	勤務先・所属部署・役職 (現職・元職選択) 勤務先住所・TEL
その他	サークル 同窓会 役員・同窓委員 会員自由記載欄

図2 ログインページ



図3 トップページ



図4 ユーザーページ  
例



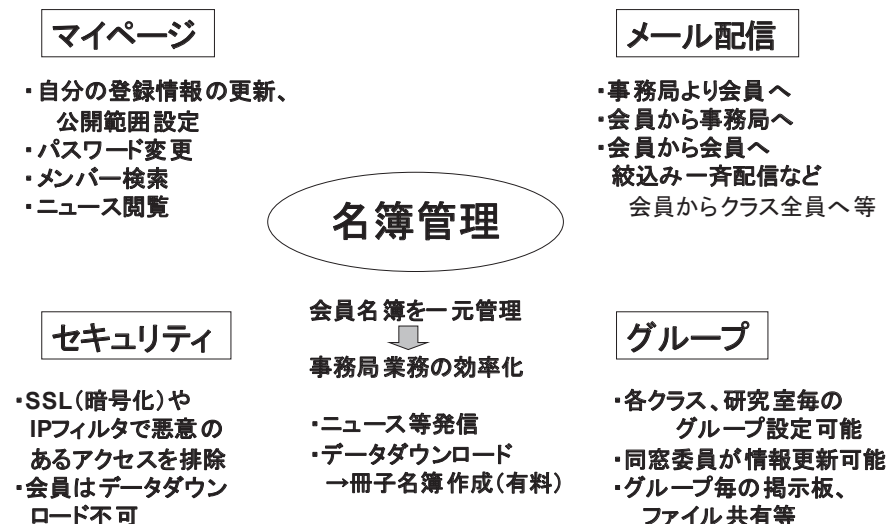
図5 ユーザーページ  
基本情報画面 例



図6 ユーザーページ  
連絡先画面  
(修正・公開範囲  
設定画面) 例



図7 会員情報システムでできること



<今後の予定>

皆様に本会誌をお届けした後は、皆様に会員情報システム利用のための会員ID、パスワードと共に、事務局原簿より会員情報システムに登録した各個人の情報をプリントアウトして郵送する予定となっています。簡単なマニュアルもお送りしますので、会員情報システムのウェブページを開き、会員ID、パスワードを入力して、ユーザーページを開いてください。ここで、各個人の情報を確認・修正し、またそれぞれの公開範囲を設定してください。まだ、この段階では他の会員の情報を見ることはできません。パソコン等を使用されない方は、送付された登録情報を確認し、必要があれば修正をお加えください。また、公開範囲も必要があれば修正の上、事務局にお送りください。事務局にて登録情報の更新をします。

上記の登録情報確認・修正のための期間を1,2ヵ月取り、その後、順調に進めば、来年1月より会員情報システムの利用開始としたいと考えております。

また、簡易的な冊子名簿の発行は来年3月頃を予定しております。まだ価格等については決まっておりませんので、購入の検討をされたい方は、皆様にお送りする上記の登録情報確認・更新の用紙の冊子名簿 購入案内送付希望にチェックし、事務局にお送りください。資料を希望された方には来年1月頃に購入案内をお送りする予定です。

<おわりに>

以上、会員情報システムの利点、概要、今後の予定等について説明してきました。よくわからない点も多いかと思いますが、まずは是非使ってみていただきたいと思います。各自の情報の更新が、事務局に連絡する必要もなくWeb上で簡単にできますので、変更があった場合にはすぐに更新をお願い致します。皆様にこまめに情報の更新をしていただくことがこのシステムでもっとも重要な点です。また、公開範囲を絞りすぎると、会員情報システムの価値が薄れますので、できるだけ公開範囲を広げておいていただきたくお願い致します。本システムにより、同窓生と学生、教員の交流が一層深まり、またクラス、研究室等のグループ、国大化学会の活動がより盛んとなることを期待しております。

皆様、国大化学会会員情報システム「Yokochem Network」を是非ご活用ください。

以上